

— 気になる子の支援について学びました—

浜田市保育連盟

保育部会 研修委員

私たちは、保育所(園)での気になる子どもについて、行動の原因や背景を推測し、困っている子どもの気持ちに寄り添うことが大切だと思います。子どもの行動には理由があることを理解し、集団行動の中で子どもへの対応やその子に合った適切な支援、配慮の方法を学ぶことを目的に研修を行いました。

日 程	令和4年7月8日(金) 13:30 ~ 15:00
実施方法	オンライン実施
対 象	保育園(所)こども園職員(加盟園)
研修内容	「気になる子の支援について」 講師:川崎医療福祉大学 子ども医療福祉課 重松 考治 氏

～研修を終えて～

- 「あいまいな言葉の中で子どもたちは生活している」という言葉が印象的で、子どもに対して抽象的、あいまいな言葉を使っていたのではないか。わかりやすい言葉がけがとても重要だと感じた。
- 子どもの状況を把握し、その子に合った支援をしていく事の大切さを改めて感じた。
- 視覚支援は見通しがたち、いつでも確認ができるので子どもたちが安心して過ごせるよう、工夫しながら取り入れたい。
- 子どもの気持ちを理解し、一緒に歩む保育士でありたい。
- 子どもたちが生活しやすいよう環境を整えるとともに、集中しやすい環境作りの工夫をしていきたい。
- オンラインでの研修であったため、多くの職員が参加できた。
- 事例を踏まえての研修で当てはまることが多く分かりやすかった。
- 自分の気持ちを表せない子どもに対しても目を向け支援、配慮をしていく事が大切だと感じた。

